

# 明野東小 学力向上プラン



【年間具体目標】
○「新大分スタンダード」を取り入れた授業実践
○スキルタイムの充実 ドリルを使った計画的な習熟（週2回／国・算）
○読書タイム（週2回）と図書館利用の充実 目標 60,000冊（昨年度 67,393冊）
○互見授業の実施 導入・課題・発問・交流・ノート指導・評価
○道徳教育の授業研究における成果の継承
○ICT機器の活用
○家庭と連携した家庭学習の充実
○学力向上会議（年2回）及び校内会議の開催 学力分析と対策

○『食育』の授業（学期1回）の実施
○大分っ子体力アップわくわく事業を引き継ぎ 体力向上の推進

○自然に親しむ活動の充実 花・野菜育て・高尾山探検など
○体験学習を重視した道徳教育の充実
○児童集会（月1回）の実施
○あいさつ運動（週2回）の実施

6年・・・全国学力・学習状況調査（R3年5月27日実施） 国語・算数  
5年・・・大分県学力定着状況調査（R3年4月20日実施） 国語・算数・理科

【国語】
6年（国64.7 県66%） 全体では国、県平均正答率ともに上 回った。しかし、「言葉の特徴や使い 方に関する事項」は下回った
5年（県71.9%） 5つの領域と6つの内容で県の正答 率を上回った。「文章を書く」内容が 県の正答率を下回った。

【算数】
6年（国70.2 県70%） 全体では国、県平均正答率ともに上 回った。しかし、領域の「変化と関係」 で下回った。
5年（県70.2%） すべての領域、5つの内容で県の平 均正答率を上回った。「億と兆・概数 の表し方」「角の大きさ」「変わり方調 べ」が目標値より低かった。

【理科】
6年（4年時 市59.6%） 全領域「物質・エネルギー」「生命・ 地球」において国、県平均正答率とも に上回った。
5年（県64.5%） 全領域、10の内容で県の平均正答 率を上回った。「動物の体のつくりと 運動」「月と星」の内容が県の正答率 より低かった。

**【R3年度体力・運動能力テスト結果】**

○全国平均を上回った主な種目

**【男子】** 上体起こし（2・3年）、長座体前屈（3・5年）、反復横跳び（2・3・4年）  
20mシャトルラン（1・4・5年）、50m走（1・5・6年）、立ち幅跳び（1・2・4年）  
ボール投げ（1・6年）

**【女子】** 握力（1・3・4・5年）、上体起こし（2・3・4年）、長座体前屈（3・4年）、  
反復横跳び（4・5年）、20mシャトルラン（1・5・6年）、50m走（1・6年）、  
立ち幅跳び（1・2・4・6年）、ボール投げ（1・3・4・5・6年）

○努力が必要とされた種目

**【男子】** 50m走、ボール投げ  
**【女子】** 50m走、反復横跳び

## 体力向上

**心育て**

- 動物や植物のお世話
- 特別の教科『道徳』との連携
- 6年生のリーダーシップの育成
- さしすせそうじの実施
- 委員会活動の充実
- あいさつ運動（児童会中心）の実施
- 自他の人権を守る教育

- 『食育』の充実  
・全学年で『食育』授業実施・残菜“0”の取り組み
- 体力向上プランの活用  
・活動の運動量を増やす・運動名人の取り組み
- ・外部講師を招いての授業
- 体育の授業時間の改善
- 中・昼休み外遊びの奨励

## 学力向上

- 授業力の向上・改善  
・1時間完結型授業  
（主体的な学びを促す「課題」の設  
定及び発問の工夫）  
（主体的・対話的な交流の場の工  
夫）
- ・板書の構造化
- ・個別指導の充実
- スキルタイムの充実  
・漢字や計算など基礎・基本の徹底
- ・発展的な問題の取り組み など
- 読書タイムの活性化（質の向上）  
（・読み聞かせグループの活用）
- ・個人の貸出冊数は1度に3冊
- ・読書週間の充実
- 校内研究の充実（研究内容）  
・道徳授業展開の共有化
- ・中心発問・問い返しの発問の工夫
- ・考えを交流し、深いまなびにつな  
がる場の工夫
- ・有効なワークシート・ノート活用
- ・評価の在り方
- ICT機器の活用  
・教科書・教材などの提示・説明
- ・児童相互の交流の場としての活用
- ・放送番組の活用

## 家庭との協働

- 家庭学習の習慣化  
・学年×10分+10分以上
- ・「家庭学習のてびき」の配布
- 地域組織の活用  
・読み聞かせグループ  
（おはなしポプラ）
- 学校評価アンケートの実施・公表  
・自己評価及び保護者アンケート結果  
を学校運営協議会にて報告
- ・学校関係者への評価結果の公表
- 学校の情報提供  
・学年便り
- ・学校便り「ポプラの風」
- ・学校ホームページ

## 地域との協働

- 自治会（子ども会）との連携  
・ドッジボール・ラジオ体操
- ・すもう大会・地区体育祭
- 社会体育団体との連携  
・サッカー・ソフトボール・新体操
- ・バドミントン・ミニバスケット他

- 校区青少年健全育成連絡協議会との連携  
・校区あいさつ運動・あいさつ横断幕
- 交通安全指導員との連携
- ポプラタイム（総合的な学習）の充実  
・介護研修センター等
- 明治明野公民館との連携  
・明明ふれあい教室

1学期 2学期 3学期 次年度

1学期末 2学期末 3学期末 春休み

教・児・保 教・児・保 教・児・保 教・児・保



### 学校評価の4点セット

### 授業改善の5点セット

**重点目標**  
基礎基本の定着を図り、学力向上をめざす

**達成指標**  
○各教科単元の学力調査で平均点が85点以上を越える  
○下位層（正答率50%未満）の割合が10%未満にする

**重点的取組**  
① 新大分スタンダード（<sup>アクティブラーニング</sup>「A」・L・UD・生徒指導の三機能等）を意識した授業を行い授業が楽しい、分かりやすいと感じる児童95%以上  
② 「めあて」「課題」「まとめ」等の話し方・聴き方の学習規律に関する取組の満足度の向上（教師アンケートでよくできた90%以上）  
③ スキルタイム（朝の活動）による音読・書く活動の計画的な取り組みの達成度80%以上  
④ 「家庭学習のてびき」による家庭学習の（宿題忘れ0、学年×10分+10分の実施90%以上、保護者との連携で「TV・SNSから離れよう30分」の定着80%以上）習慣化

**取組指標**  
① 日々の授業にUDの視点を取り入れ学習環境を整える。  
一日一回「生徒指導の三機能」を取り入れた授業を行う。  
一単元に一回、ALの活動を設ける。  
② 一日一回以上「めあて」「課題」「まとめ」等を位置付けた授業を行う。  
③ 児童が、スキルタイム（朝の活動）に週二回取り組む。  
④ 毎日、宿題提出状況などをチェック・シートで点検する。  
学期に一回、学級懇談会で「TV・SNSから離れよう30分」の取り組みを呼びかける。

### 目標協働達成の4点セット

**家庭**

**重点的取組**  
家庭における学習習慣を確立する。

**取組指標**  
① 「家庭学習のてびき」による、学習時間・学習内容に取り組む。  
② 「TV・SNSから離れよう30分」に取り組む。

**地域**

**重点的取組**  
ボプラタイム（総合的な学習の時間）における学校への協力。

**取組指標**  
地域の人や団体が、どの学年においても、一回は協力できる単元に関わる。

### 学力向上プラン

- 1 児童の状況・課題
- 2 指導の状況・課題
- 3 目指す児童像
- 4 今後の具体的な取組
  - ① 授業改善の取組
  - ② その他の学習指導の取組
  - ③ 学習状況改善の取組
  - ④ 家庭・地域との協働

**授業改善テーマ**  
自分の考えをもち、伝え合い、深める子の育成

**授業改善の重点**  
○全員が考えることができる課題と発問の工夫  
○話題や視点を明確にし、考えの違いが見える板書の工夫  
○考えを交流し、深い学びにつながる話し合い活動の工夫

**取組内容**  
○「目当て」「課題」「まとめ」「振り返り」の指導過程が明確で、構造化された板書  
○ノートやワークシートに自分の考えを書く時間を確保する。

**取組指標**  
○一日一回以上「課題」を位置付けた授業を行う。  
○学年に応じたノート指導を行うとともに、単元ごとに記述内容の把握を行う。  
○単元ごとに記述内容を把握し、授業改善へつなげる。

**検証指標**  
○ノートやワークシートの記述から、伝えたい事柄や自分の考えの根拠を表現できているか検証  
○単元末テストの記述問題に、適切に回答している児童85%以上